

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

佐賀産業保健総合支援センター「かささぎ」メールマガジン

第156号 2021年（令和3年）2月25日

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

<目次>

1. 企業に求められる、高齢労働者の健康管理（WEB）研修会のご案内【NEW】
2. 産業保健関係情報・統計情報等（厚生労働省）
3. 機構からのお知らせ
労災疾病等医学研究普及サイトのご案内
4. 「治療と仕事の両立支援」定期出張相談窓口のご案内

-
1. 企業に求められる、高齢労働者の健康管理（WEB）研修会のご案内【NEW】
-

人材不足の深刻化が進む中、ここ10年間で60歳以上の労働者数が1.5倍に増加しており、今後も高年齢者の労働参加の拡大が期待されています。今回は、企業に求められる、高齢労働者の健康管理について、企業の取組事例と共に考えます。

日時：3月17日（水） 14：00～15：00

定員：30名

テーマ：企業に求められる、高齢労働者の健康管理

講師：佐賀産業保健総合支援センター 産業保健専門職 田中珠美

お申込みはこちらから

https://www.sagas.johas.go.jp/publics/index/1/detail=1/b_id=7/block7_limit=10/p7=1#block7-1040

-
2. 産業保健関係情報・統計情報等（厚生労働省）
-

■休業支援金・給付金の非正規雇用労働者の取扱い及び雇用調整助成金の雇用維持要件の緩和等について

新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金については、雇用調整助成金の活用もままならない中小企業の労働者を対象としてきましたが、今般、本年1月からの緊急事態宣言の影響を受ける大企業にお勤めの、一定の非正規雇用労働者の方についても、休業手当を受け取れない場合に休業支援金・給付金の対象とする予定です。

https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000107715_00003.html

■労働移動支援相談窓口を開設しました（佐賀労働局）

コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、一時的に雇用過剰となった企業が従業員の雇用を守るため、人手不足などの企業との間で出向を行う場合に、その取組を支援するため「労働移動支援相談窓口」を開設することとしました。

https://jsite.mhlw.go.jp/saga-roudoukyoku/newpage_00700.html

■「産業雇用安定助成金」の創設について

在籍型出向により労働者の雇用維持に取り組む事業主の皆さまを支援します。

https://www.mhlw.go.jp/stf/sankokin0122_00003.html

■2021年4月から中小企業でも正社員と非正規雇用労働者の間の不合理な待遇差は禁止になります！

https://part-tanjikan.mhlw.go.jp/pdf/douitsu_kokuchi.pdf

パート・有期労働ポータルサイト <https://part-tanjikan.mhlw.go.jp/>

■「職場における新型コロナウイルス感染拡大防止対策相談コーナー」を新たに設置しました（佐賀労働局）

https://jsite.mhlw.go.jp/saga-roudoukyoku/newpage_00714.html

職場における新型コロナウイルス感染症対策実施のため～取組の5つのポイント～を確認しましょう（リーフレット） <https://www.mhlw.go.jp/content/000737535.pdf>

3. 機構からのお知らせ

■さんぽセンターWEB ひろばを公開しました

産業保健総合支援センター（通称：さんぽセンター）や地域産業保健センター（地さんぽ）が行っている詳しい事業内容等についてご案内しています。「さんぽセンター」、「地さんぽ」が提供するサービスについて俳優の谷原章介さんが解説する動画もございますので、ぜひご覧ください。

<https://www.johas.go.jp/Portals/0/sanpocenter/webhiroba.html>

■会議を行うにあたって新型コロナウイルス感染症の感染防止のためのポイント

「会議を行うにあたって新型コロナウイルス感染症の感染防止のためのポイント」のビデオを制作しました。このビデオは会議を行うにあたって新型コロナウイルス感染症の感染リスクを下げる5つのポイントを紹介していますので、是非ご活用ください。

<https://www.johas.go.jp/sangyouhoken/johoteikyo/tabid/1923/Default.aspx>

■労災疾病等医学研究普及サイトのご案内

●「運動器外傷機能再建（中間報告）」について

手・足・背骨（脊椎）、骨盤など、体を支えて動かす働きのある器官を運動器と言います。

これらの運動器に骨折や捻挫などの外傷が加わると、立つ、歩くといった日常動作に大きな支障が出ます。この状態を「運動器外傷」と言います。

平成30年7月に開始した本研究では、運動器外傷を受傷した患者について、年齢、性別、職業などの基本情報、骨折部位、骨折型、治療法などの外傷に関する情報や、リハビリテーション、復職など受傷後の経過に関する情報を集め、これを分析しています。運動器外傷患者のQOL回復と復職に影響する要因を明らかにし、早期復職や治療と仕事の両立支援につなげていくことを目的としています。

本研究では、データベースに登録した症例を対象とし、受傷後6か月、1年、2年で診療情報を収集して、分析を行っています。中間報告において、データベースに登録した1,235症例のうち、受傷時に就労していた970症例について、受傷後6か月及び受傷後1年での就労率は、それぞれ76.3%及び66.5%となったことが報告されました。現在、受傷後2年までの追跡調査を継続して行っています。

本研究の詳細については、「労災疾病等医学研究普及サイト」をご覧ください。

<https://www.research.johas.go.jp/undouki2018/index.html>

4. 「治療と仕事の両立支援」定期出張相談窓口のご案内

<https://www.sagas.johas.go.jp/publics/index/63/>

コロナウイルス感染症感染拡大状況によって変更が生じる場合もございます。最新の開設状況は当センターホームページでご確認ください。

【3月定期出張相談窓口】

- * 佐賀大学医学部附属病院 19日（金）11：00～14：00（毎月第3金曜日）
- * 佐賀県医療センター好生館 16日（火）11：00～14：00（毎月第3火曜日）
- * 唐津赤十字病院 10日（水）11：30～14：30（毎月第2水曜日）
- * 嬉野医療センター 11日（木）11：00～14：00（毎月第2木曜日）

=====

佐賀産業保健総合支援センターでは、産業医や事業場の労務管理者等の方が産業保健活動を実践する上での様々な問題に関するご相談・ご質問を窓口（予約面談）・電話・Eメール等で受付・対応しています。産業医学・労働衛生工学等各専門分野の相談員等が対応し、問題解決に向けた助言をさせていただきます。

ご利用は無料ですので、どうぞお気軽にご利用ください。

【担当分野：相談例】

- 産業医学：健康診断の事後措置、職業性疾病の予防対策、職場巡視の方法
- 労働衛生工学：作業環境の維持管理と改善の方法、測定機器の扱い方

